

会 議 録

1 会議名

令和3年度第4回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

- ・令和3年度地域活動支援事業について（公開）
- ・委員研修について（公開）

○その他

- ・産業建設部会と光ヶ原高原ファン倶楽部との意見交換会の開催報告（公開）

3 開催日時

令和3年7月13日（火）午後6時00分から午後7時10分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、長藤豊（欠席1人）
- ・事務局：板倉区総合事務所 川瀬所長、高波次長（総務・地域振興グループ長兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、大堀建設グループ長、丸山市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、小池地域振興班長、成見主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【高波次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井達夫会長】

- ・挨拶

【川瀬所長】

- ・挨拶

【平井達夫会長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

4「協議」(1) 令和3年度地域活動支援事業について、事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1について説明

現在、提案の相談を7件ほど受けている。本日は審査スケジュールについてご協議をお願いしたい。

【平井達夫会長】

事務局の説明について、意見・質問等がある委員の挙手を求める。

(意見なし)

それでは、審査スケジュールについては提案どおり進める。

次に、「協議」(2) 委員研修について、事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料2について説明

本日は研修について協議をお願いしたい。

【平井達夫会長】

今ほど事務局から説明があったが、まず日程について10月の中旬から下旬ということでしょうか。

(意見なし)

それでは、日程については10月の中旬から下旬ということに進める。

次に内容だが、事務局から区内、市内、県内で分けしてもらったが、この3つのうちのどれかで決め、具体的な内容については事務局と会長、副会長で内容をつめていきたいと考える。意見のある委員の挙手を求める。

【長藤豊委員】

私は他区の地域振興の状況や地域活動支援事業の取組について見たいと思っていたので、頸城区の状況を視察するのがよいと思う。施設見学も含めて市内研修がよいと思う。

【平井達夫会長】

ただいまの意見は市内研修がよいということであった。他にないか。

【庄山健委員】

私は市内研修もよいが、公の施設の適正配置計画の関係で、やすらぎ荘、あるいはふしんの里、関係する振興会と意見交換を行わないと、前に進まないのではと思っている。

【平井達夫会長】

区内研修がよいということであった。他にないか。

【西田節夫委員】

過去の研修は現委員の中で4人しか行ったことがない。新しい委員は行ったことがないので、できれば市内研修がいいと思う。区内研修の関係者との意見交換会については部会でまずやっていただいて、たたき台を作ってもらわないと時間がかかってしまうのではないか。廃校の活用など以前視察も行ったが、行った後板倉区はどうすべきなのかという話し合いが無かった。もっと議論すべきである。研修に行ってきただけでは、何のために行ったのかということになる。

【平井達夫会長】

ただいまの意見は市内研修がよいということであった。県内研修がよいという委員はいるか。

【手塚哲夫委員】

私は、学校の統廃合による空き校舎の利活用事例や、地域の特産品開発についての視察がよいと思い挙げさせていただいたが、皆さんの意見を聞いて、市内研修がよいと思った。

【平井達夫会長】

他にないか。

【植木節子委員】

先日、産業・建設部会と光ヶ原高原ファン倶楽部との意見交換のときに、「地域協議会の人たちは何をやっているのかわからない」と言われた。先ほどの庄山委員の意見のように、やすらぎ荘やふしんの里などまだ残さなければならないものがあるので、意見交換を行って、みんなでもがいてみるのもよいと思う。それから私が地域協議会委員になったのは、家の裏の土砂崩れが心配であり、自分の財産を子や孫に残したいと思ったからである。だから皆さんの地域の危ない場所を教えていただいて、地域のために力を出した方がよいと思う。そのためには区内研修ということで、いろんな形で意見交換を行っていけばよいと思う。

【平井達夫会長】

区内研修がよいということであった。他にないか。

【小林政弘委員】

光ヶ原高原や、やすらぎ荘については、観光振興の面で大変大きな課題というのは皆さん認識しているので、視察研修とは別に充分時間をかけて研修会なりやった方がいいのではないか。私は一人ひとりの見識を高めるために、頸城区や大潟区などの活動状況を知ることがよいと思う。

【平井達夫会長】

ただ今の意見は、板倉区においての問題はいろいろあるが、それは別に取り組むとして、他の区を見るのもよいのではということであった。

他にないか。

(意見なし)

意見が出尽くしたようだ。それでは、区内研修と市内研修で挙手により決めたい。

区内研修がよいと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

市内研修がよいと思う委員は挙手願う。

(挙手多数)

挙手多数により市内研修に決定する。詳しい内容については、会長、副会長、事務局で話をつめていく。

次に、5「その他」産業・建設部会が行った光ヶ原高原ファン倶楽部との意見

交換会の報告について、田中座長から報告願う。

【田中睦夫委員】

7月5日に産業・建設部会の古川副会長、庄山委員、下鳥委員、植木委員と私
で光ヶ原高原ファン倶楽部と意見交換を行った。光ヶ原高原ファン倶楽部は会
長、副会長、若手代表と3名の参加であった。意見交換会ということで、お互い
ざっくばらんに話し合った。具体的にこうしたいという詰めのところまではいか
ななかったが、現状を把握した形になった。光ヶ原ファン倶楽部は昨年立ち上げて
活動しているが、およそ10年くらい前からこの件には動いてきておりそれを引
き継いでやっているということであった。次年度以降は行政側が光ヶ原高原から
撤退するというので、その際には2、3考えていることがあるということだ
が、はっきり決まっていないということであった。光ヶ原高原だけではなく、や
すらぎ荘の問題、ゑしんの里記念館の問題等々話し合っていかなければいけない
と思っている。私は光ヶ原高原ファン倶楽部のオブザーバーになっているので、
また今週土曜日にも会議があるのだが、何か動きがあれば皆さんにお伝えした
い。

【平井達夫会長】

質問、意見のある委員は挙手願う。

【西田節夫委員】

一つ聞きたいのだが、光ヶ原高原夏祭り実行委員会は解散したのか。今年はどう
なっているのか。

【田中睦夫委員】

夏祭りについては、意見交換会では話が出なかったが、私が関係して以前2回
夏祭りをやったが今はやっていない。昨年一昨年もやっていない。その後どう
いう取組になっているのか話は出なかった。コロナの関係もあるので、多分改め
てやることはないと思う。

【西田節夫委員】

夏祭りについては、光ヶ原高原への道路の拡幅の問題で国交省から何かやって
人を集めないとなかなか難しいと言われて始めたと聞いている。実行委員会がせ
っかく立ち上げて2年でやめてしまっては勿体ないのではないか。また光ヶ原高

原、やすらぎ荘も含めて話し合っていかなければいけない。ファン倶楽部と夏祭り実行委員会で話をしてもらったらどうか。

【田中睦夫委員】

機会があれば具申したい。意見交換会するとき増村剛さんという若い方が出席していた。先日、若い人たちが中心となって集まり地域の勉強会をしたそう。彼は以前光ヶ原高原の婚活イベントの立ち上げにも関わっていたので、機会があれば話をしていきたい。

【平井達夫会長】

他にないか。

【庄山健委員】

光ヶ原高原ばかりでなく、やすらぎ荘など観光施設があるが、それらを含めて物事をやろうとする中心になる組織が板倉区にないのが欠点だと思っている。地域協議会がやるのか板倉まちづくり振興会なのかあしの里観光公社なのか。長く委員をやっている人に聞きたい。長い間、審議してきたと思うがどうか。

【西田節夫委員】

委員は長くやっているが、そこまで議論してこなかった。板倉区は光ヶ原高原がメインだ。バラバラに取り組んでもまとめないと全体の効果になっていかない。同じ土俵にあがって議論しないといけない。誰がやるのかと言えばあしの里観光公社がきちんと音頭をとらないとなかなか難しいと思う。何度かあしの里観光公社に話したことがあったが動かなかった。理事長が代わったので、また話をしていかなければならない。

【平井達夫会長】

地域協議会が音頭をとっていくのかと庄山委員から質問があったが、私たち地域協議会委員はメインで動くことはできない。私も以前地域協議会委員として出席を依頼され、光ヶ原高原ファン倶楽部が発足する前の組織に出たことがあるが、私が地域協議会としてメインで出ることはおかしいのではないかと行政から話があった。それでオブザーバーという立場で出ることになった。今は田中座長もオブザーバーで出ている。光ヶ原高原の問題で出ているが、やすらぎ荘や山寺薬師とか箕冠城跡とか焼山城跡とか、地域の課題だから地域協議会がどんどん出

てやるのかという意見も一方ではあるが、それはできない。しかし地域の課題であるから、メインではなくオブザーバーで出席するのはやぶさかではない。行政側から説明を求める。

【小池地域振興班長】

地域協議会とは地域の課題を話し合っ、その声を市政に届ける、市長の諮問機関である。プレイヤーというよりは、地域のいろいろな団体を繋げたり、地域の課題を発掘するという役割がある。今、板倉区の自主的審議事項ということで、上越市のホームページでも示しているが、何年も前から残っているテーマとして「板倉区の観光振興」がある。今、各部会で意見交換会を行ったり、視察研修についても先ほど話し合っ、いただいたが、今後は自主的審議事項について時間をとって、いろんな関係者から来ていただき話を聞いたり、意見交換を行っ、いただいたりしたいと考えている。

【平井達夫会長】

一言で言えば地域協議会は課題を解決するためにメインで動く組織ではないということだ。いわゆる市長の諮問機関であるということである。他にないか。

【庄山健委員】

では地域の課題はどこで解決するのか。私たちには権限はないのか。

【平井達夫会長】

先ほど話したとおりメインで大きなくくりの中で動くというわけではなく、サブ的な形で関わっ、いくということだと思っ。

【小池地域振興班長】

地域の課題をどこで解決するかということであるが、課題にもよるが、例えば地域協議会の中で頸城区のように地域を元気にするために必要な提案事業をやっ、てみようじゃないかとか、市長に対して意見書を出してみようとか、地域活動支援事業の採択方針を精査してもっと活用できるようにしようとか、内容によると思っ、がそういったことが考えられる。

【川瀬所長】

直接的な答えになるか分からないが述べさせていだきたい。私も今年の4月に板倉区へ来て、板倉まちづくり振興会やゑしんの里観光公社とお話しさせてい

ただいた。例えば光ヶ原高原ややすらぎ荘といった観光面について、どこか話していったらよいのかははっきり見えないと感じた。今までもあったかもしれないが今後、横の連携というものが必要になってくる。今後板倉区をどうしていったらよいのか、皆さんから話し合っていたらいいか、皆さんから意見を聞きながら板倉区を今後どうしていくのかということをお話しさせていただきたい。地域の課題をどこで解決するのかということについては、私としてはどこかということとは言えないが、やはりいろいろな方とお話ししながら、また一同にお集まりいただく機会を設けたりするのは一つの方法と思っている。そうした中で、どこで解決するのかということも話し合っていきたい。

【庄山健委員】

光ヶ原高原ややすらぎ荘などを、どこかでまとめるところが欲しいとみんな思っている。そうしないと宙ぶらりんになってしまう。地域協議会が接着剤になってそういうものを選んでやることはできないのか。

【平井達夫会長】

観光についての窓口はふしんの里記念館であるが、はっきりしたものがなく、交通整理ができていないというのは事実である。だからオブザーバーという立場になる。

他にないか。

【西田節夫委員】

地域協議会が意見書を市長に出しても、市長はその通りに行く義務はない。そうすると議員に頼むしかない。

【平井達夫会長】

地域協議会委員の立場というものは、他の区でもいろいろな意見が出て問題になっている。はっきり言えるのは地域協議会と市議会は違うということである。地域協議会と市議会を整理しないと、なかなか地域協議会委員の立場というものははっきりしない。例えば予算がついているわけではなく、地域活動支援事業の採択審査はするが、道路の拡幅を要望するというのはなかなかできない。

【高波次長】

意見書に関しては、市に出されれば市は回答することになっている。そのとおりになるかということにもよる。どこが音頭をとっていくかということに関しては観光公社であったり、振興会と連携してだったり区によってもいろいろな形がある。板倉区の場合は公社がある、私も4月から来て感じたことは、お互い深く連携すべきではないかということである。

【平井達夫会長】

他に事務局からないか。

【小池地域振興班長】

- ・ 第5回地域協議会は8月10日、第6回は8月20日に開催
- ・ 「上越市過疎地域持続的発展計画」の諮問により第7回地域協議会は9月10日に開催
- ・ 上越教育大学院生からアンケート調査について協力依頼

地域活動支援事業で採択された「棚田ホテル火街道事業」について、採択審議の時に具体的な設置場所まで決まっていなかったことから議論になっていたが、ゑしんの里観光公社から、今年度の取組予定について報告があった。510個のソーラーライトを購入し、そのうち7月の下旬から、やすらぎ荘付近で約150個のソーラーライトを設置するとのことであった。「やすらぎ荘はこちら」という文字を作ると聞いている。また8月には筒方地区で残りの350個ほどのソーラーライトを設置するとのことであり報告する。

【平井達夫会長】

他に委員からないか。

【長藤豊委員】

地域振興部会の進行状況について説明する。前回の地域協議会の後、個別に連絡をとった。板倉まちづくり振興会と意見交換会を行うという話が出ている。今後、どういった話し合いをするか部会を開催して決めていきたい。

【平井達夫会長】

他にないか。

【田中睦夫委員】

4月の地域協議会で話し合った6地区での意見交換会について、コロナの関係

で延期していたが、どうなっているのか。

【小池地域振興班長】

会長、副会長との話し合いの中で、ワクチンは打ったが、町内会の会合が延期されている状況で地域協議会が出ていくのはどうかということで保留になっているので、私からはいつ行うということとは言えない。また、会長、副会長と協議する。

【平井達夫会長】

先ほどの説明で8月に筒方地区にLEDライトを設置するということだが、具体的には350個のライトについてどこに設置するか聞いているか。

【小池地域振興班長】

初めての試みなので、まずは、やすらぎ荘でやってみてから、筒方地区でどのように設置するかを具体的に決めていくとのことである。具体的なことが決まったら報告する。

【平井達夫会長】

5 その他については以上とする。

- ・会議録の確認は長藤委員に依頼

【古川政繁副会長】

- ・挨拶

【高波次長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL0255-78-2141 (内線123)

E-mail:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。